

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 08-001							
PDCA	事務事業名	市税等徴収事務	部課等名	総務部 収納課	収納担当		
				担当	間瀬		
				内線等	277		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第6章 自立した地域経営のまち 節：第1節 行財政運営とサービスの向上 基本施策：2. 財政運営 単位施策：(1) 財源の確保 個別施策：①長期的かつ安定的な財源の確保					
	根拠法令等	地方税法、国税徴収法、半田市市税条例					
	対象・目的	市民・事業者等からの市税等の収入を確保する。税負担の公平性を損なうことのないよう、未納市税等の滞納整理を進め、収入未済額の圧縮を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	現年未納分の徴収を強化し、翌年度への滞納繰越を増加させないよう、文書催告、電話催告等を中心に初期滞納者への早期納付を促す。さらに、納付指導に応じない滞納者に対しては、財産調査を行い、預金等の差押えによる滞納処分を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①差押件数	972	959	918	件	
		②執行停止件数	213	184	185	件	
		③口座振替加入率（当初賦課時点）	39.53	39.91	39.97	%	
		事業費	12,059	12,789	14,213	千円	
		人件費	81,102	81,375	81,389	千円	
		総事業費	93,161	94,164	95,602	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①収納率0.01%あたりに掛かるコスト（現年分）	9,245	9,365	9,537	円	
	②収納率0.01%あたりに掛かるコスト（滞納繰越分）	415	272	222	円		
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①収納率（現年課税分）	実績値	99.82	99.81	99.61	%
			目標値	99.77	99.80	99.82	
		②収納・停止率（滞納繰越分）	実績値	59.34	53.62	53.45	%
			目標値	60.00	60.00	60.00	
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ある
	事業の評価・課題	A					
		現年課税分の収納率は99.61%（前年度99.81%）で、目標を0.21ポイント下回る結果となった。主な要因は、新型コロナウイルス感染症に係る徴収猶予の特例制度によるものであり、徴収猶予に係る滞納分を除外した場合の収納率は99.83%となり、目標値を上回る結果となった。滞納繰越分の収納・停止率についても53.45%（前年度53.62%）で、目標値を6.55ポイント下回る結果となったが、収納率は前年度を上回っており、27.11%と前年度を1.81ポイント上回ることができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			現年課税分収納率の目標値を達成するために、引き続き初期滞納者への早期財産調査・滞納処分を強化していくとともに、納税環境の整備として、キャッシュレス決済（口座振替、クレジット決済等）を推進していく。また、滞納繰越分については、納期限を迎える徴収猶予分を確実に収入するとともに、入念な各種調査を実施し、滞納処分もしくは執行停止につなげていく。				
令和3年度の目標		成果指標	目標値	単位			
		①収納率（現年課税分）	99.82	%			
		②収納・停止率（滞納繰越分）	60.00	%			